

若者との対話集会～市長と若者が考えるまちの魅力と将来～ [概要]

I 目的

若年層の人口減少や人材流出等の問題への取組が一層重要になることから、将来、本市のまちづくりの担い手として活躍する若年層の意見を把握するため。

II 対話のテーマ

このまちにずっと居たい、戻りたい、行ってみたい、住んでみたいを実現するために。

- 「まち」・「地域」の課題を克服して「ひと」を引きつける方法
- 「まち」・「地域」の魅力を伸ばして「ひと」を引きつける方法
- 「まち」・「地域」の将来につなぐ魅力の活用

III 日時・場所

日時：平成26年8月30日(土) 13:00～14:30

場所：旭川市宮前通東 旭川市市民活動交流センターCoCoDe ホール棟

IV 参加者

10～30代の学生，社会人（男性：40名 女性：12名 合計52名）

V 主な意見

○ものづくりのブランド力向上や人材育成のための教育の充実

- ・小中学生の授業に「ものづくり」を取り入れ、知見を広め、人材育成、業界の拡充につなげる。
- ・市民にも訪れる人にも開かれたデザインミュージアムを設置し、ブランド力強化と地域活性化を図る。

○新たな観光スポットの創設・発掘

○単身の若者まちなか居住推進や駐車場無料化等により文化施設の利用促進を図り、中心部の賑わいを創出

○まちの魅力を作るのは人。人と人がどうつながるかがこれからの課題

○家具産業、デザイン業と福祉分野など異業種のつながりを機能的に作るモデル事業の実施・普及

○人材の呼び込みと旭川の魅力、知名度のアップのため大学を設立

○ICTを活用した学力向上につながる教育の充実

○最大の魅力である良質な雪をアピールした移住・定住者の呼び込み（ハーフパイプの再整備等）

○旭川からオリンピックや世界で活躍していく選手を輩出するため、通年型スノーボード練習施設を整備

○イベント開催時以外にも買物公園に賑わいを創出する仕組みの検討

○英語や中国語等の外国語の対応力アップにより、海外観光客に対するホスピタリティの向上を図る。

- ・海外観光客と小中学生を結びつけることにより外国語学習の動機付けを図る。

○子育てしやすく若い世代が日本一住みやすいまちを目指す。

○若者を引き止めるためには、単純に「何か楽しいこと」を増やすことも重要

○これからの旭川を良くするためには、年齢層、職種を問わず意見を交換していくことが重要

